

参加証

D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）

第5回学術集会（WEB 開催）に参加したことを証明します。

2020年11月28日 10:00～15:40

（プレセッション 9:30～）

会場：ウェブ開催（Zoom）

当番世話人

明石 秀親

（国立国際医療研究センター国際医療協力局 運営企画部長）

代表世話人

内富 庸介

（国立がん研究センター中央病院 支持療法開発部門長/
社会と健康研究センター副センター長）

D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）第5回学術集会

「D&I 科学と国際保健」

【日時】2020年11月28日 土曜日 9:30-15:40

【会場】ウェブ開催（Zoom）

プログラム

09:30 - 9:50 プレセッション「基礎編：D&I 研究とは何か？」司会 清水千佳子（国立国際医療研究センター）

島津 太一（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部 室長）

10:00-10:05 当番世話人挨拶・明石 秀親、代表世話人挨拶・内富 庸介

企画セッション「AMEDの事例からD&I 研究を学ぶ」 座長 明石秀親（国立国際医療研究センター）

10:05-10:15 講演1「低・中所得国の慢性疾患対策に資する実装研究の取り組みについて」

野田 正彦（日本医療研究開発機構 国際戦略推進部長）

10:15 - 10:45 講演2「ベトナムにおける看護師向けスマートフォン・ストレスマネジメントプログラムプロジェクト：

RE-AIM 枠組みによる評価」

川上 憲人（東京大学医学部健康総合科学科 教授） / 今村 幸太郎（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野） /

佐々木 那津（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野） / ベトナム看護師ストレスマネジメントチーム

10:45 - 11:15 講演3「タイ、フィリピンにおける災害時 PFA 実装の取り組み」

金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 所長）

11:15 - 11:20 - 休憩 -

11:20 - 11:50 講演4「タンザニアにおける高血圧・糖尿病患者の疾病管理実装研究」

中村 桂子（東京医科歯科大学国際保健医療事業開発分野 教授）

11:50 - 12:20 講演5「ネパールの遠隔地における糖尿病対策のための健康増進活動によるランダム化比較介入試験」

杉下 智彦（東京女子医科大学医学部国際環境・熱帯医学 教授）

12:20 - 13:10 - 昼休憩 -

13:10 - 13:15 分科会について説明

13:15 - 15:05 一般演題（A会場 / B会場）

【A会場】座長 竹原 健二、今村 晴彦

A 1「アンゴラ共和国における母子健康手帳の実装研究」

青木 藍（国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部）

A 2「行政と住民組織の協働による健康まちづくりの促進要因の検討 - 熊本市の小学校区単位の取り組みより -」

今村 晴彦（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）

A 3「高齢女性に対する SNS を利用した最期を迎えたい場所の話し合いの促進支援」森木 友紀（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

A 4「日本人におけるがんに関する健康情報へのアクセス、IT 利用、健康行動についての調査（プロトコル）」大槻 曜生（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

A 5「中小事業所における慢性疾患対策の実施の影響要因：CFIR を用いた質的研究」齋藤 順子（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

A 6「実装マッピングを使用した職域におけるがん予防対策の実装戦略開発」

小田原 幸（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

A 7「職域における喫煙対策を促進させる介入手法の開発：事業所チェックリストを用いた喫煙対策支援介入プログラムの単群実施可能性試験（プロトコル）」島津 太一（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

15:05 - 15:20 一般演題各会場のまとめ報告

15:20 - 15:30 次回開催についてご案内

第6回当番世話人 川上 憲人（東京大学医学部健康総合科学科 教授）

15:30 - 15:35 講評 國土 典宏（国立国際医療研究センター 理事長）

15:35 - 15:40 閉会挨拶 明石 秀親

【B会場】松岡 歩、片岡 弥恵子

B 1「実装科学の統合フレームワークを用いたポリファーマシー解消の阻害要因・促進要因の評価（プロトコル）」梶 有貴（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

B 2「精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究

（EGUIDE プロジェクト）」長谷川 尚美（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部）

B 3「『精神保健サービスにおける実装可能性の評価尺度』日本語版開発の試み」白井 香（東京大学大学院医学系研究科精神学分野）

B 4「Alberta Context Tool 日本語版の開発および信頼性・妥当性の検証」二見 朝子（厚生労働省子ども家庭局母子保健課）

B 5「妊婦健康診査における社会的ハラスク女妊婦スクリーニングシステム改善の試み」柳村 直子（日本赤十字社医療センター）

B 6「日本のがん診療現場における高齢者機能性評価実装の阻害・促進要因の同定のための CFIR に基づくインタビュー調査（プロトコル）」

松岡 歩（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

B 7「がん化学療法誘発性悪心・嘔吐に対する制吐薬適正使用の阻害・促進要因の検討（プロトコル）」矢口 明子（国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部）

